

病床数

医療法承認病床数 112床

外来診療時間

■午前 9:00~12:00 (受付 8:30~11:30)
■午後 14:00~17:30 (受付 13:30~17:00)

診療科目


- 外科
- 消化器外科
- 内科
- 消化器内科
- 肛門外科
- リハビリテーション科
- 疼痛緩和内科
- 麻酔科


休診日


休診日:土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始など
※急患の方はこの限りではありません。

アクセス



 JR中津駅より約10分
東九州自動車道 中津ICより 約15分

 中津駅より タクシー 約10分

 中津観光バス 大貞車庫行
約15分 園田下車すぐ

医療法人社団 **中津胃腸病院**

24時間365日
救急病院

※当院は健康増進法により病院・敷地内全面禁煙となります。

〒871-0162 大分県中津市大字永添510番地

TEL:0979-24-1632(代表)

FAX:0979-22-9800(代表)

<https://n-icho.or.jp>

中津胃腸病院

検索



救急告示病院 / 日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 中津胃腸病院

病院案内



地域の皆さまと共に、未来につながる 医療を考え続けていきます。

基本理念

- 安心して気持ちよくかかれる病院

基本方針

- 消化器病を中心に、診断から治療まで迅速に、一貫性を持った最先端の医療を行う。
- 「全ての医療は患者さまの為に」という気持ちを忘れず説明・接遇・医療行為は親切安全を旨とする。
- 地域医療の向上に貢献すべく、自らの研鑽を怠らず、学術活動や情報発信の努力精進を続ける。
- 地域の期待に応えるため、救急・検診・予防医療・教育でも、能力の限り積極的に対応する。
- 病診連携を円滑に保ち、受診・転院・セカンドオピニオンにも、最大限の便宜を図る。

患者様の権利と義務

- 患者様は、何ら差別することなく、どなたでも平等に医療を受けることができます。
- 患者様は、必要なときに援助・助力を求め、最善の医療を受けることができます。
- 患者様は、医療機関を自由に選択し、複数の医師の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
- 患者様は、検査や治療の目的・方法・内容・危険性について、十分に理解できるまで説明を受けることができます。
- 患者様は、自分自身の診療に関する情報の提供を受けることができます。
- 患者様は、十分な説明や助言・協力を得た上で、あなたの意思に基づいて医療行為を受け、或いは拒否することができます。
- 患者様はプライバシーに関する権利を有し、医療に関する個人情報保護されます。
- 患者様は、協力的・積極的に診療に参加してください。
- 患者様は、自分自身の健康に関する情報を正直かつ正確に伝える必要があります。
- 他の患者様の治療や、職員の医療行為の妨げにならないように病院の規則や指示を守る必要があります。
- 医療費は、遅滞なくお支払いください。

外来

当院は救急指定病院の認定を受け24時間の救急医療体制に対応した二次救急指定病院です。
開院以来、消化器疾患を中心とした医療を提供していますが、風邪や外傷などの日常的なものから糖尿病や高血圧などの生活習慣病まで幅広く診療が可能です。

入院

急性期から地域包括、緩和ケア病棟まで幅広く対応しております。
入院時より医師、看護師をはじめ多職種が協力し診療にあたります。早期退院・日常生活復帰のためにスタッフ一丸となり取り組んでいます。

在宅

在宅での療養をご希望される患者さまにとって最良なサポートとは何かを考え、在宅での療養生活をお手伝いさせていただきます。
医師や看護師が訪問し、他施設との連携を取りながらサポートします。夜間や休日の緊急時でも24時間365日、在宅医療専門スタッフが対応します。

健診・予防接種

定期健康診断、雇用時健康診断、人間ドックコースがあります。基本的なコースに加え、オプション項目があり、からだの気になる部分の検査を追加していただくことで、よりご自身に合った検査をお受けいただくことができます。
各種予防接種についても実施しております。

診断と治療

内視鏡検査

内視鏡検査は苦しい、痛いなどのイメージを持っている人が多くいます。検査における苦痛に配慮し、安心して検査を受けていただけます。

Q なぜ、内視鏡検査を受けた方が良いか？

A 悪性新生物(がん)は、日本人の死因第1位です。

■ 部位別がん死亡率

男性	女性
1位 肺がん	1位 肺がん
2位 胃がん	2位 胃がん
3位 大腸がん	3位 大腸がん

消化器疾患である大腸がん、胃がんが男女ともに上位を占めています。がんは早期段階では自覚症状がほとんどなく、知らないうちにがんが進行してしまうことがあります。このため、胃がんや大腸がんを早期に発見するには、気になる症状がない場合でも定期的に内視鏡検査を受けることが推奨されています。内視鏡検査は、胃や大腸など消化管のがんをはじめとした多くの病気の早期発見に必須の検査です。

迅速な検査で、診断・治療をできるだけ早く努めます

最新の設備と熟練した医師による技術で患者さまの消化器疾患の検査・診断・治療にあたっています。

内視鏡検査に関しては、精度の高い検査にこだわり、早期発見・治療につながるよう消化器疾患のエキスパートドクターが診断・治療を行います。

内視鏡治療、外科手術、腹腔鏡手術による治療から、がんの化学療法・緩和ケアまで幅広い診療が可能です。

患者さまとご家族の皆さまに、より安心して治療を受けていただける体制を整えております。

苦痛の軽減

スコープを飲み込むときの「オエッ」となる苦しみは嫌ですね。のどの麻酔などを適切に使用することにより、不安や緊張を和らげます。

徹底した安全衛生管理

洗浄・消毒室は、医療安全と感染制御に配慮して、バックヤードを設けて独立しています。

苦痛の軽減

なるべく洗腸剤を薬に、苦痛が少なく服用できるよう配慮しています。

徹底した安全衛生管理

内視鏡スコープや検査機器の感染対策をしています。安心・安全な衛生管理を徹底しています。

胃内視鏡検査

ファイバースコープを鼻や口から挿入し、のどを通過して食道・胃・十二指腸まで進めながら消化管を観察する検査です。

質の高い診断と治療

精度の高い検査にこだわり、早期発見・治療につながるよう消化器疾患のエキスパートドクター・消化器内視鏡技師がサポートします。

土曜日も検査可能

平日に仕事でなかなか検査が出来ない方は、当日でも胃カメラ検査を受けることができます。(絶食の方)

大腸内視鏡検査

先端に高性能カメラがついた細いチューブを肛門から挿入し、直腸と大腸を観察する検査です。

質の高い診断と治療

精度の高い検査にこだわり、早期発見・治療につながるよう消化器疾患のエキスパートドクター・消化器内視鏡技師がサポートします。

サポート体制の充実

ポリプ切除後の当日や翌日に出血を起こすことがあるため、入院して患者さまの状態を把握させていただきます。

地域包括



地域包括ケア病床とは

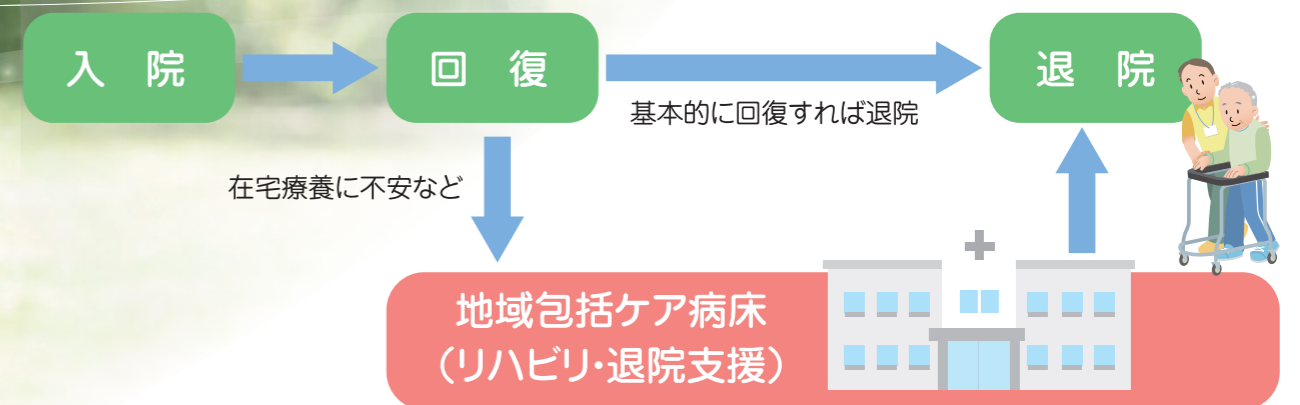
病状が安定した患者さまに対して、自宅や介護施設への在宅復帰に向けたリハビリや食事改善などを行う“在宅復帰支援のための病床”です。

心身が回復するよう医師や薬剤師、看護師・管理栄養士・リハビリスタッフにより、在宅復帰に向けて治療・支援を行っていきます。また、在宅介護支援事業所のケアマネージャーも患者さまとご家族に介護保険の申請およびケアプラン作成などのサポートをさせていただきます。

地域包括ケア病床対象の患者さま

1. 当院にてもう少し経過観察が必要になる方
2. 在宅復帰へ向けて積極的なリハビリが必要な方
3. 在宅での療養準備が必要な方

ただし、該当病床に入室後、最長60日以内での退院が原則となります。
なお、「地域包括ケア病床」への移行は主治医または担当医師が判断し、スタッフが患者さまおよびご家族の方に説明をさせていただき、ご了承いただいた患者さまを地域包括ケア病床へ移動し継続入院となります。



入院費について

地域包括ケア病棟入院医療管理料を算定しますので、包括制となります。詳しくは受付にてお尋ねください。

なお、70歳以上の方は月の医療費の負担上限が定められていますので、一般病床の場合と負担上限は変わりません。また、入室された後には、他医療機関の受診は原則として行えませんがご相談に応じます。

緩和ケア



住み慣れた地元であなたらしく心穏やかに

がんなどによる心と身体の苦痛をやわらげ、自分らしい生活を送れるようにする、それが「緩和ケア」。

住み慣れた地元で心穏やかに過ごしていただきたい、そんな想いで患者さまをサポートします。

緩和ケアとは

病気や治療によって生じる痛みや息苦しさなどの症状、悩み、不安などを和らげ、その人らしく穏やかな生活を送れるように、さまざまなスタッフが協力して行うケアです。患者さまの意思を尊重するとともに、患者さまとご家族の方への援助も行います。患者さまが尊厳を持って有意義な時を過ごせるように患者さまとご家族とともに考え、支えていく医療です。

ご自宅のように リラックス

使い慣れた枕や
パジャマを使ったり、
好きなCD、DVD、本などを
持ち込むことができます。

がんと共に 生きることを支えます

緩和ケア病棟はがんを治す
ための病棟ではありません。
しかし、痛み・息苦しさなどの
苦痛症状を取る治療、
悩み・不安など心理的なケアを
積極的に行っています。

もちろん 外泊や外出もできます

体調がよい時は
外泊や外出・旅行もできます。
ドライブや買い物を楽しめる方や、
結婚式などの大切なイベントに
ご家族と一緒に
参加される方もおられます。

病室っぽくない お部屋を目指しました

木目調の壁や障子を
施した窓など、病室ということ
出来る限り意識しないように
配慮して設計しております。

万全の体制で お支えます

医師・看護師・薬剤師・
管理栄養士・リハビリスタッフ・
社会福祉士などがチームを組み、
協働して患者さま・ご家族の
思いや希望を第一に考え、
支えてまいります。

入院の流れ

- 1 電話相談・面談
病気の経緯やお身体の様子などを伺います。緩和ケア外来受診予約、緩和ケアに関する相談や入院に関する費用などのご説明も可能です。
- 2 緩和ケア医師面談(予約制)
ご本人だけでなく、なるべく付き添いの方もお願いします。代理でご家族の受診も可能ですが、必ず病状について把握されている方の来院をお願いします。
- 3 入院可否のご連絡
面談後、緩和ケア病棟の入院適応の審議をさせていただき、地域連携センターよりご連絡いたします。入院日も併せてご連絡いたします。
- 4 入院準備
入院の準備をお願いいたします。ご質問などは受付担当者にご連絡ください。入院日まで、現在の入院病院、もしくは在宅にて待機をしていただきます。
- 5 入院開始
当日、必要物品を揃えてお越しください。

※面談なしでも入棟可能です。

入棟基準

- 1.原則ご本人ががんであることを理解している。
(入棟前後、ご本人ががんの病名や病態、予後を知る可能性があることを家族が了解している)
- 2.抗がん剤や放射線治療などのがんに対する積極的治療、延命処置を行わないことに同意している。
- 3.症状緩和のための入院や家族のレスパイト(休息)目的の入院もある。
- 4.ご本人、ご家族が当院の緩和ケア病棟に入院することを了承している。

入院費について

- ・医療費は一日あたり定額制です。
- ・医療保険が適用されます。
- ・高額療養費・限度額適用制度が利用できます。
- ・有料個室は保険適用外となります。

在宅

診療内容

- ・日常的な健康管理
- ・創傷や褥瘡の処置・管理
- ・膀胱カテーテル、ストーマ、ドレーンの処置・管理
- ・点滴、経管栄養（胃ろう）、在宅酸素療法などの処置・管理
- ・血液、尿などの検体検査
- ・認知症、精神疾患（妄想、徘徊、うつなど）の治療、薬のコントロール
- ・がん末期などの疼痛コントロール、緩和ケア など

安心の療養生活

24時間365日対応します

夜間や休日の緊急時でも24時間365日、在宅医療専門スタッフが対応します。一人での介護が不安な方やご家族の事情を考慮できる体制を整えています。

救急対応の中津胃腸病院が母体です

入院加療が必要な場合には、中津胃腸病院へ入院できるよう手配いたします。普段の訪問診療から連続性のある医療が提供できます。

なんでも相談できます

在宅医療の特徴のひとつとして、介護にあたる方との連絡調整や相談にも対応しています。ヘルパーや高齢者施設のことなど、介護事業所と連携し、相談窓口として迅速に対応できる専門スタッフを配置しておりますので、お気軽にご相談ください。

診療開始まで

電話相談

まずは、お気軽にご連絡下さい。

外来診療

患者さまの状態を診察させて頂きます。ご家族さまの相談もお受けします。

診療開始

医師・看護師が計画的かつ定期的に訪問し、診療を行います。

全ての医療は患者さまの為に

TEL:0979-64-6256

中津胃腸病院の訪問診療センターは、「全ての医療は患者さまの為に」という基本方針の下、在宅での療養をご希望される患者さまにとって最適なサポートとは何かを考え、在宅での療養生活をお手伝いさせていただきます。

ご家族にこのような方がいましたらお気軽にご相談ください

- ・加齢による筋力低下で通院困難な方
- ・認知症や脳卒中後遺症などで通院困難な方
- ・褥瘡、経管栄養、在宅酸素など特別な医療処置が必要な方
- ・できるだけ、ご自宅で最期まで過ごしたい方 など

訪問地域

中津胃腸病院を中心に半径16km内の地域が対象です

※お住まいが、当院を中心に半径16kmを超える場合であっても、地域性や疾患（専門的な診療が必要な場合）などにより、訪問診療が可能な場合があります。

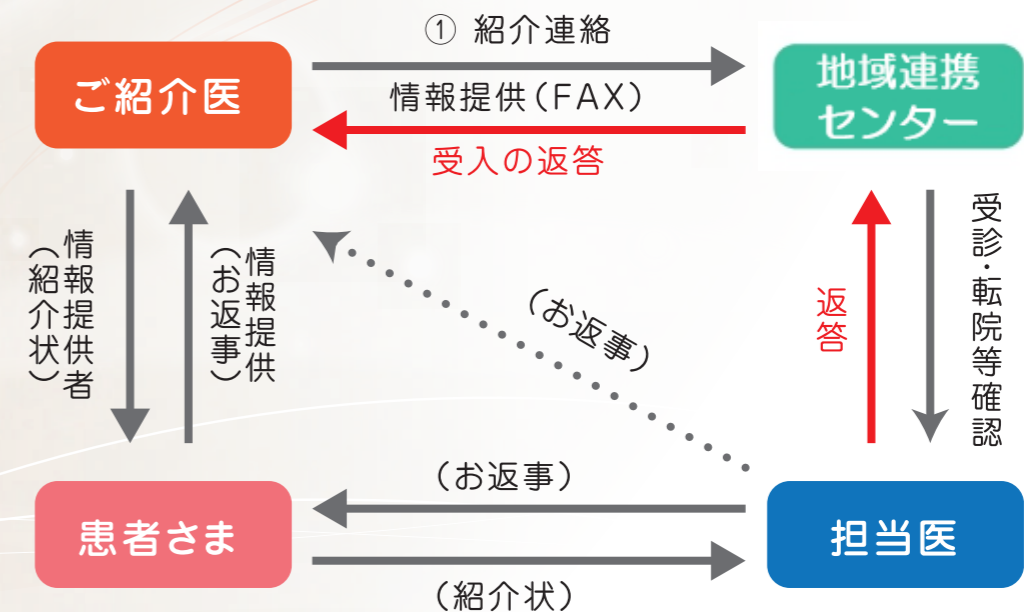
まずは、ご相談ください。



地域連携（地域連携センター）

地域連携室のご利用

患者さまが住み慣れた地域で安心して生活できるように医療機関・施設が互いに連携を図り、円滑に診療・退院できるように努めています。



相談窓口

病気になると、不安や苦痛はもちろん、療養生活を含め、生活に関する心配事が出てきます。当院の専門職員が相談に応じます。

地域の皆さまとともに
より良い環境で治療を受けられるように、支援します。

当院の地域連携センターでは、入院予約をされた患者さま及び当日入院決定された患者さま一人一人の状況を早期より把握し、入院前・入院中・退院後も含めた多職種連携による支援を提供できるよう、患者サービス向上を目指します。また、地域の医療機関・施設からのご紹介をよりスムーズに行えるよう支援していきます。

患者支援・相談窓口のお知らせ

相談窓口: 病院受付及び入院中は病棟スタッフ

- 相談内容：
- 診療に関する事
 - 医療費に関する事
 - 緩和ケアに関する事
 - 入院生活に関する事
 - 介護保険や身体障害者手帳の申請や各種制度や手続きについて
 - 福祉サービス、退院後の生活に関する事
 - 医療安全に関する事
 - カルテ開示について
 - セカンドオピニオン
 - 職員の接遇、マナー、環境など
 - その他、ご意見・ご要望について

お問い合わせ

中津胃腸病院 地域連携センター

平日 8:30～17:00

TEL:0979-22-9815

清潔で快適な院内環境

患者さまが
安心して
来院できるよう
感染防止対策を
実施しています

治療前も治療中も安心して過ごせる環境を

院内で過ごすすべての時間が患者さまにとって快適であるために、
院内は清潔、安全で明るい雰囲気となるように努めています。

受付・外来待合室

大きな窓からは自然光がたくさん入り、明るい待合室になっています。車いすをご利用の方も移動がしやすいよう、十分な広さを確保しています。

来院される方をお迎えする受付は、明るくあたたかな雰囲気でお客さまの緊張を和らげます。展示コーナーは地域の皆さまのご協力をいただき、さまざまな作品を展示しています。定期的に作品を入れ替え、患者さまや職員の癒しの場になっています。



外来・検査

外来診察室・検査部門をすべて1階に配置し、同じフロアで内視鏡・放射線等の検査や処置を受けることができます。

スタッフステーション



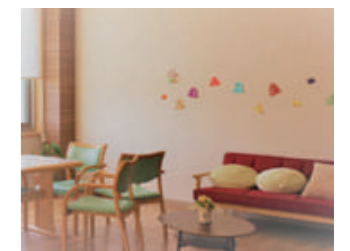
患者さまやご家族からお気軽に声をかけていただけるよう、開放的なつくりとなっています。

病室(2~4人部屋・個室・緩和ケア)



十分な広さの明るい病室で治療に専念していただくことができます。
緩和ケア病棟はすべて個室となっており、ゆったりと過ごしていただけます。

食堂・デイルーム



各病棟には患者さま用の食堂を設置し、早期離床を促すとともに患者さま同士のコミュニケーションの場となっています。

デイルーム(緩和ケア病棟)は明るい日差しが差し込み、窓からは美しい沖代平野が望めます。病室から出てくつろげる憩いの場です。

リハビリテーション室

広々としたリハビリテーション室でさまざまなプログラムのリハビリを実施しています。

大きな窓からは桜の木が見え、春には満開になります。お花見しながらのお散歩は気持ちが良いです。

